

名称 所在	用途 (令別表)	発生日時等	構造・階層 面積	焼損程度 (焼損面積 延面積)	死傷者
喫茶店 銀座オリエント ----- 東京都中央区銀座 4丁目6番11号	喫茶店 (3)口	昭和50年7月11日	耐火 5	全・半・部・小	死者
		出火2時15分ころ 覚知2時26分 覚知別 警察電話 鎮火4時51分	建 241m ² 延 1,280m ²	170 m ² (13%)	0名 傷者 3名 ()

I 火災概要								
① 概要	深夜、銀座四丁目交差点近くで、耐火造5階建ビルの2階喫茶店から出火して2,3階部分170m ² 焼損し、耐火区画(令8区画)されていた隣接の住居部分にも延焼した、このため逃げ遅れた4名の居住者とこれを助けようとした一般人1名計5名が消防隊に救助された。							
② 階 別 状 況	階	床面積 m ²	焼損床面積 m ²	用途(売場)	在館者	死者	避難設備等 消防用設備等	
	耐火造地下1階、地上4階一部5階建、建築面積241m ² 、延面積1280m ² の建物を内部で縦割りに3区画し、(政令第8条適用区画)、喫茶店オリエントは石端を使用していた。以下喫茶店銀座オリエントのみ記入。							
	5	98		事務所			屋内階段 1箇所 ① ② ③ ④ ロープ	
	4	112		喫茶店				
	3	112	2,3階部分 170m ²	喫茶店	(隣接の2店舗に4人) が就寝中であった			
	②	112		喫茶店				
	1	112	(隣接店舗3Fの天井裏4m ²) 焼損	喫茶店				
	B1	117		喫茶店				
合計	663	170		0	0			
③ 出 火 場 所	(階、室、部位、可燃物状況、居室・非居室、在・不在) 2階客席部分から出火 閉店後であり無人であった。店内には客席椅子が多数あったうえ、内装は可燃材(布張りベニヤ)で施工されていた。				④ 出 火 原 因	喫茶店の客席で客の吸ったタバコが何等からの理由で座席シートの上に落ち、これに気付かないで閉店退去したため、無人の客席でタバコ火が座席シートに着火し、約4時間経過して発炎出火したものと推定される。		

⑤ 火 災 の 延 焼 経 路 等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">(出火部位) 2階喫茶店客席</div> <div style="text-align: center;">(出火室の拡大) 内装(布張りベニヤ) 客席等の可燃物</div> <div style="text-align: center;">(上階への拡大) 店内中央部にあ る吹抜階段</div> <div style="text-align: center;">(他店舗への延焼) 3階壁体防火区 画の不完全箇所</div> </div>			
	<p>○ 2階喫茶店客席から出火した火災は、同店中央部に設置されている吹き抜け階段を経て、3階客へ延焼拡大した。</p> <p>○ 施工時点から3階耐火区画(政令第8条適用区画)の壁(ブロック)と梁との間にすきまがあったり、ブロック積み不足部分があったため、その部分から火煙が進入し、隣接店の天井裏や共用ダクトスペース内にも延焼していった。</p> <p>○ 延焼拡大した主な理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 無人の店舗から出火し、初期消火が全く行われなかった。 ○ 出火室中央部が吹抜階段になっていた。 ○ 煙の伝播経路 ○ 店舗間区画(政令第8条区画)の壁(ブロック)と梁との間にすきま及びブロック積みの不足部分から他店舗へ伝播。 ○ ダクトスペース内が焼損したことにより、ダクトが加熱され、ダクトスペース内の消音材が燃焼し、発生した煙が各居室の給気口から排出した。 			
II 火災建物概要				
① 建築	着工・竣工又は主たる改築等 (建築) 昭和30年2月(レストランとしてオープン) (改装) 昭和42年12月(現在の喫茶店に改装)			
管 理 状 況	② 縦 穴 の 状 況		③ 防 火 管 理 状 況	
	階 段 <input checked="" type="checkbox"/> ダクトスペース <input checked="" type="checkbox"/> エレベーター <input type="checkbox"/> パイプシャフト <input type="checkbox"/> エスカレータ <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/>		○ 防火管理者に選任されており、消防計画も提出されていた。 ○ 夜間等警備なし。	
管 理 状 況	④ 防 火 区 画 等		⑤ 消 防 用 設 備 等	
	建物の内部をブロックで縦割りに3区画して使用していた(政令第8条適用区画)		特記なし	

III 火災後の行動	
① 発見状況	<p>○発見者 (警察官)</p> <p>○発見の動機 (建物から煙が出ているのに気付く)</p> <p>○発見後の行動 (110番へ通報)</p>
	<p>銀座四丁目交番で勤務中、出火建物西側中央付近から煙が出ているのに気づき発見する。</p>
② 通報状況	<p>通報した <input checked="" type="checkbox"/> (発見した警察官) 出火後約(11)分</p> <p>しない <input type="checkbox"/></p>
	<p>発見した警察官がすぐ110番へ通報。</p>
③ 初期消火状況	<p>消火した</p> <p>成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input type="checkbox"/></p> <p>○消火時期 <input type="checkbox"/></p> <p>○消火困難性 <input type="checkbox"/></p> <p>○消火方法 <input type="checkbox"/></p>
	<p>消火しない</p> <p>○消火時期 <input type="checkbox"/></p> <p>○消火困難性 <input type="checkbox"/></p> <p>○消火方法 <input type="checkbox"/></p> <p>○その他 <input checked="" type="checkbox"/> (無人)</p>
<p>(理由又は状況)</p> <p>深夜無人の喫茶店内から出火し、発見が遅れたうえ、唯一の出入口が施錠され、シャッターが閉鎖されている状態なので、初期消火は全く行っていない。</p>	
④ 消火活動概要	<p>(消防上の支障・困難性等)</p> <p>特記なし</p>

⑤ 避 難 状 況	避 難 方 法		避 難 上 支 障 事 項	
	○階段を利用 <input type="checkbox"/> (人) ○エレベーター、エスカレータ利用 <input type="checkbox"/> (人) ○避難器具を利用 <input type="checkbox"/> (人) ○窓、開口部から直接地上へ <input type="checkbox"/> (人) ○救助 <input checked="" type="checkbox"/> (5 人) ○その他() <input type="checkbox"/> (人)		○無 窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置) ○停 電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input checked="" type="checkbox"/> 隣店火災による煙が当該建物の階段を汚染	
⑥ 死 者 の 状 況	健康人 名 (泥酔者 名) 要保護者 名 乳幼児 名 高齢者 名 身体不 自由者 名 病人 名		避 難 上 支 障 と な っ た 事 項 ○無 窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置) ○停 電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>	
	なし			
IV 問題点・教訓等				
1. 銀座オリエントと3店舗及びS店舗とY店舗とは、壁体で区画(政令第8条適用区画)してあったものの、壁体のブロックと梁との間に、施工時点からすき間があったり、ブロックを完全に積み重ねていなかったため、銀座オリエントで発生した火災が隣接のS店舗の方へも影響を及ぼしたものである。 2. 共用ダクトスペースと店舗部分とを区画している壁体も、前記と同様な状況であったため、ダクトスペース内が焼損し、その加熱でダクト内の消音材が燃焼して居室に設置してある給気口から煙が排出した。 3. 各店舗とも内階段1箇所あるのみで、その内階段に煙が充満したため、逃げ場を失ない、4名の居住者は避難することができなくなった。				



